

よくある回答(2)

Lesson 1

- ▶ **リスクをどのように定義しますか？**
 - ▶ 望む結果と異なることが起こること、またはその確率のこと
 - ▶ 期待したものから外れて、別の状態になってしまう可能性やその外れ方の大きさ
 - ▶ 未来において望ましくないことが起こりうるという懸念
 - ▶ 将来に起こりうる自分に不利益をもたらす可能性
 - ▶ 自分の思惑・願望に反したことが起こる可能性・確率
 - ▶ 人や物に対して損害を発生させる要因

よくある回答(3)

Lesson 1

- ▶ **リスク管理の目的とは何ですか？**
 - ▶ 膨大な損害を防ぎ、活動を維持するため
 - ▶ 将来において望ましくないことが起こっても個人や社会が損害を被らないようにすること、もしくはその望ましくないこと
がなるべく起こらないようにすること
 - ▶ リスクによって生じる損害の影響を減少させること
 - ▶ 現在のリスクを理解して、可能ならそれを減らすこと
 - ▶ リスクが起こる確率を予測し、発生した時のリスクを定量的
に把握する

リスクの種類

Lesson 1

- ▶ 金融機関が抱えるリスクは一般的に以下のように分類される。

リスクの種類	内 容
市場リスク	金利や為替、株価などの市場価格の変動により、金融資産・負債の価値が変動し損失を被るリスク。
信用リスク	倒産や経営の悪化など取引先の信用状態の低下により、貸出金などの回収が困難になることで、損失を被るリスク
流動性リスク	市場環境の悪化などにより必要な資金が確保できず資金繰りがつかなくなる場合や、通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスク（資金繰りリスク）と、債券などの金融商品の売買において、市場の混乱などにより取引ができなくなったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスク（市場流動性リスク）がある。
オペレーショナル・リスク	各業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること（内部要因）、または外的な事象（外部要因）による損失など、オペレーション（業務）に関するリスク。 具体的には以下のようなものが含まれる。 （例）事務リスク、システムリスク、リーガルリスク、風評リスク 等

第1章 金融機関のリスク管理

Lesson 2

リスク管理の概要

リスク管理の目的(1)

Lesson 2

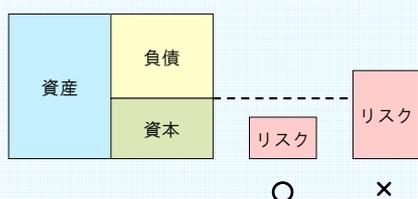
- ▶ では、リスクを「管理」する目的は何か？
 - ▶ リスクを回避するのが目的か
 - ▶ ただし、リスクを取るからリターンが得られるのではないか

リスク管理の目的(2)

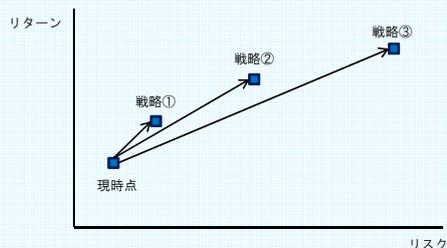
Lesson 2

- ▶ よって、次の両面を考えるのがリスク管理となる
 - ▶ 健全性を確保する(より安全に)
 - ▶ リターンを高める(より有利に)

〔健全性の確保〕



〔リターンの向上〕



リスク管理の目的(3)

Lesson 2

- ▶ 「健全性の確保」と「リターンの向上」を、
 どうバランスさせるかが「管理」
 - ▶ 全体としてリスクをどの程度とるか(抑えるか)
 - ▶ どのようなリスクをどの程度とるか(リスクの質と量の組み合わせ)
 - ▶ このような判断を行い、実践、評価、改善していくのが「リスク管理」

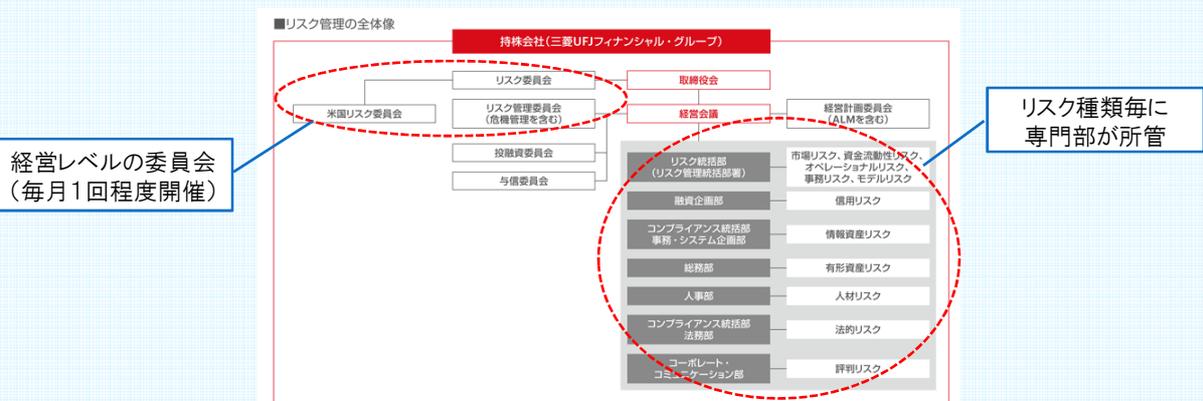
「リスク管理 = 経営そのもの」といえる

金融機関のリスク管理業務

Lesson 2

▶ リスク管理の組織

[事例] 銀行のリスク管理の組織



VaR

Lesson 2

- ▶ VaR(Value at Risk)とは、リスクを「計量化」する手法の1つ
 - ▶ 市場リスク、信用リスク、オペレーショナル・リスクに対して利用されることが多い。
- ▶ 1980年代に欧米の先進金融機関で拡大
 - ▶ JPモルガンのウェザーストーン会長が、自社が抱えるポジションのリスクを1つにまとめて、毎日16:15に報告するように指示したことが発端との逸話あり。